

開催日時		議 事 録			開催場所	
令和 8 年 3 月 23 日 (月)		令和 7 年度地域連携推進会議			ビレッジまほら A 棟	
10 : 00 ~ 12 : 00						
主 催	社会福祉法人やまと福祉事業団			会議の種類	☒ 定 例	
司 会		書 記			☐ 臨 時	
会 議 資 料	次第					
添 付 資 料	なし					
出席者	☒ 橿原市社会福祉協議会 ☒ 橿原市社会福祉協議会 ☒ 大軽町自治会長 ☒ 利用者家族代表 ☒ 利用者代表 ☒ 「ビレッジまほら」職員					
議 題						
1. 事業所からの報告						
「ビレッジまほら」施設内と各設備の案内と説明(ビレッジまほら職員)						
2. 利用者に関する情報共有						
・利用者の定員は？(橿原市社会福祉協議会)						
まほら A 棟・B 棟の合わせての定員は 40 名、現在の入居者は 26 名で、男性 17 名・女性 9 名の利用者が日々生活しておられます。(ビレッジまほら職員)						
・平日、日中の過ごし方は？(橿原市社会福祉協議会)						
利用者は平日の日中、同じ法人内の生活介護事業所「友の室」へ通所していて、年齢層は 10 代から 50 代と幅広いが皆さん、今日も元気に仕事へ出勤されています。(ビレッジまほら職員)						

・土日の過ごし方は？(樫原市社会福祉協議会)
土日は自宅へ帰省する利用者が多い。一方、グループホームに残る利用者は移動支援や行動援護などの福祉サービスを利用し、外出をして余暇活動を楽しんでいます。(ビレッジまほら職員)
・グループホーム内での過ごし方は？(樫原市社会福祉協議会)
グループホーム内での過ごし方は利用者それぞれになる、タブレットを持参し、YouTubeで動画や音楽を楽しむ利用者もいれば、多数のDVDを持ち込んで映画鑑賞を楽しむ利用者もいます。ただグループホームは共同生活になるので利用者同士の相性を考慮して、入浴や食事のタイミングをずらすことにより、利用者全員が安全に暮らせるように支援しています。(ビレッジまほら職員)
3. 地域連携に関する協議
・災害時の避難は？(利用者家族代表)
地域の災害時避難場所として畝傍東小学校が指定されているが、利用者の特性を考えると長時間の避難生活は難しいと判断されます。(ビレッジまほら職員)
大軽町の公民館は避難場所としての対応はしていない。(大軽町自治会長)
まほらは耐震化もされており、地震に対しても強く、令和7年度には敷地内に食料の備蓄庫を設置したので今後は食料や災害時に必要な物資の備蓄を考えています。(ビレッジまほら職員)